

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-		
		商店街（代表者）	・東北新幹線延伸のカウントダウンイベントが始まり、観光業や飲食業などでの動きが活発になってくる。		
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・健康や美容関連商品の売上が安定しており、子ども手当の支給が消費につながるため、販売量の増加が期待できる。		
		百貨店（企画担当）	・製造業を中心とした設備投資などで経済に動きがあるため、中元商戦の盛り上がり期待している。		
		百貨店（営業担当）	・必要な物は多少高価な商品でも購入する消費者が増えており、話題の商品や価値のある商品の動きが良くなっている。		
		百貨店（売場担当）	・消費者の買い控えは弱くなっているため、クリアランスが始まれば、来客数、売上共に増加が期待できる。		
		百貨店（経営者）	・前年に比べてボーナス支給額が増える見込みであり、消費者の購買意欲は強くなる。		
		百貨店（販促担当）	・物産展や催事への消費者の反応が良くなってきているため、今後も売上の増加が期待できる。		
		衣料品専門店（店長）	・景気を持ち直し感からビジネス客の動きが良く、前年に比べて来客数が増加傾向にある。		
		衣料品専門店（店長）	・高価な商品を買いたい客が少しずつ増えているため、今後の売上に期待できる。		
		衣料品専門店（店長）	・天候が安定すれば、我慢が続いた買い控えの反動で、販売量の増加が期待できる。		
		家電量販店（店長）	・エコポイント制度が延長されたため、薄型テレビの販売は今後も良い動きが続く。また、天候に左右されるものの、エアコンや冷蔵庫などの季節商材もボーナス商戦の売上に期待できる。		
		乗用車販売店（経営者）	・新型車の販売イベント効果とエコカー購入補助金の駆け込み需要が見込まれるため、来店客の増加が期待できる。		
		その他専門店〔靴〕（経営者）	・天候不順はしばらく続くものの、必要な物に対する消費者の需要は次第に強まっている。		
		高級レストラン（経営者）	・悪い条件が出揃い、景気も底を打っているため、後は上向いていくだけと期待している。		
		高級レストラン（支配人）	・外資系ホテルの進出が消費を刺激するため、来客数の増加が期待できる。		
		一般レストラン（経営者）	・住宅需要の盛り上がりで不動産関係を中心に景気が良くなっており、天候が安定してくれば人の流れが回復してくる。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・ボーナスを支給する企業が前年に比べて増えているため、宿泊客や飲食客の増加が期待できる。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約申込が前年を上回っている。		
		通信会社（営業担当）	・各社とも新機種が投入されるため、機種変更などの需要が期待できる。		
		美容室（経営者）	・参議院選挙までは消費者の様子見が続くものの、子ども手当やボーナスの支給で所得が増えるため、景気は良くなる。		
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・消費マインドは回復しており、買上点数の増加が期待できる。		
		変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・子ども手当の支給が始まるため、消費への効果には注目するものの、身の回りでは盛り上がりを感じられない。
				商店街（代表者）	・来街客は増加しているものの、実際の購買にはつながらず、販売単価の低下が商店街全体で続いている。
				商店街（代表者）	・小売店でのサービス競争が激しくなっているため、商店街の各店舗では来客数と売上の確保に苦心が続く。
				一般小売店〔茶〕（経営者）	・自然災害の影響は落ち着いてきており、来店客の様子から購買力の回復がうかがえる。
				一般小売店〔酒〕（経営者）	・商品が動き出す兆しはみあたらない。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・夏物商材が売上に貢献する時期になるが、繁華街では参議院選挙まで様子見が続くため、先行きは不透明である。				
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・子ども手当の効果には期待するものの、景気の回復にはつながらない。				
百貨店（売場主任）	・冷夏と予報されているため、クリアランスセールでも夏物衣料の売上には期待できない。				
百貨店（経営者）	・長期予報では天候が安定しないため、今後も季節商材の売上には期待できず、景気回復のプラス材料はみあたらない。				

スーパー（経営者）	・株安や円高で先行き不安が広がっており、回復の兆しがある雇用への影響が懸念される。
スーパー（店長）	・子ども手当の支給に期待するものの、節約志向の強い消費者は多いため、低価格販売はしばらく続けざるを得ない。
スーパー（店長）	・消費者の低価格志向に変化がなく、チラシ特売の品数を増やしているが、前年の来客数を上回るのは難しい。
スーパー（店長）	・低温が続いているため、農作物の作柄や地域経済への影響が懸念される。
スーパー（総務担当）	・子ども手当への期待はあるが、教育費や貯蓄にまわって直接消費には結び付かないと予想されている。
スーパー（営業担当）	・天候不順が続くと野菜の価格高騰など不安要素が多くなるため、消費者の財布のひもは固いまま変わらない。
コンビニ（経営者）	・景気が上向いているとの報道もあるが、来店客の話や商品の動きから判断すると、依然として消費者は厳しい生活が続いている。
コンビニ（エリア担当）	・来客数、客単価共に回復の見込みがなく、厳しい状況は当分変わらない。冷夏の長期予報もあり、天候を要因とした更なる悪化が懸念される。
コンビニ（店長）	・最悪の状況は抜け出しているものの、客単価が低迷しており、デフレの状況はしばらく変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・消費マインドが回復しているため、消費者が期待する価格対応ができれば、売上の増加も期待できる。
衣料品専門店（経営者）	・景気の変化する要因がみあたらない。
衣料品専門店（総務担当）	・低価格商品を支持する消費者は依然として多く、購買意欲の回復はしばらく期待できない。
家電量販店（店長）	・サッカーワールドカップ開催の起爆材料はあるものの、液晶テレビの品薄な状況が続くため、販売台数はしばらく低迷する。
家電量販店（店長）	・ギリシャ財政危機や個人所得の落ち込みによる先行き不安から、消費者の買い控えはしばらく続く。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金の終了まで、駆け込み需要が期待できる。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金の予算進捗状況によっては、今後の新車販売への影響が懸念される。
住関連専門店（経営者）	・同業者の閉店などで客の動きは変わるものの、地方の景気は厳しい状況が続く。
住関連専門店（経営者）	・景気の波が交互に続く傾向にあり、景気回復には時間がかかる。
その他専門店〔呉服〕（経営者）	・個人の収入が増える見込みはないため、今後も厳しい状況が変わらない。
その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・受注に動きが出ているものの、販売単価に占める利益率が低いいため、厳しい状況はしばらく変わらない。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・天候不順が続くと、ビアガーデンや飲食店の販売量が例年を下回る懸念がある。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・子ども手当の支給は、一時的に消費者の購買意欲を刺激するものの、長くは続かない。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	・消費者の低価格志向が続いて、得意先の売上回復には時間がかかるため、全体的な販売量はしばらく変わらない。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・需要に対応してメーカーが在庫を削減した経緯もあるが、海外縫製工場の人出不足問題が続いており、在庫不足の懸念はしばらく続く。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・長期的には石油製品の需要が減少傾向にあり、早期の景気回復は見込めない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・石油元売業者の料金体系が変わるため、販売価格を市況に合わせられない懸念がある。
一般レストラン（経営者）	・参議院選挙があるため企業の利用は減少するものの、ボーナスなどで所得が増えれば個人利用に期待できる。
スナック（経営者）	・アルバイト求人を出したところ、問い合わせが予想を上回っており、厳しい雇用状況はしばらく変わらない。
観光型ホテル（経営者）	・価格競争の結果、消費者の選択肢が増えているため、安定した予約の確保が難しく、先行予約は前年をわずかに下回っている。
観光型ホテル（スタッフ）	・景気の悪化は底を打っているものの、参議院選挙や天候不順が影響するため、来客数の回復はしばらく期待できない。
観光型旅館（スタッフ）	・団体客が落ち込む一方で個人客のネット予約が増えているため、経営や業績管理が難しくなっている。

	都市型ホテル（スタッフ）	・先行きに対する不安感があるため、支給が始まる子ども手当は貯蓄にまわる可能性が高く、消費の回復には結び付かない。
	旅行代理店（店長）	・予約状況からは、一部商品で例年を上回る受注が見られるものの、国内外にかかわらず販売量の回復には時間がかかる。
	旅行代理店（従業員）	・参議院選挙や天候不順など先行きは不透明であり、一部の商品は受注を伸ばしているものの、消費者の旅行マインドを刺激する材料にはなっていない。
	タクシー運転手	・過剰なタクシー台数は当分変わらないため、売上の回復は期待できない。
	タクシー運転手	・悪くなる要素も良くなる要素もみあたらない。タクシー台数の削減計画はあるが、勤務先では出勤日数の調整しており、削減を実施しても厳しい売上は変わらない。
	タクシー運転手	・乗客の話を聞いても、景気が良くなる要因は見当たらない。
	通信会社（営業担当）	・夏のボーナスによる消費に期待するものの、景気回復への要素は見当たらない。
	通信会社（営業担当）	・デフレの傾向は続いており、販売単価が改善されないと景気回復とは言えない。
	通信会社（営業担当）	・景気が好転する材料は見当たらず、状況の変化は期待できない。
	遊園地（経営者）	・子ども手当の支給が始まるものの、天候不順や参議院選挙など下押し材料もあり、景気の先行きには期待できない。
	美容室（経営者）	・パブルのようなお祭り騒ぎでもない限り、景気回復は期待できない。
	設計事務所（経営者）	・計画されている案件は受注が見込まれるものの、先行きの不透明感是不変。
	住宅販売会社（従業員）	・公共事業の建設案件が動いているものの、受注残が少なくっており、先行きが不透明である。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・不安定な政治に加えて、事件や口蹄疫など先行き不安が一段と強まっている。
	百貨店（広報担当）	・子ども手当の支給は消費の起爆剤とはならず、冷夏の長期予報から夏物衣料の売上が前年を下回る見込みである。
	スーパー（店長）	・冷夏と予想されており、季節商材の売上不振や農産物の価格上昇が懸念される。
	スーパー（店長）	・競合他社では、食料品雑貨の特売日をなくして毎日安売りする方法に変えており、運営コストなどが削減できるために採用する企業は増えている。
	コンビニ（経営者）	・客単価の落ち込みに加えて、冷夏により季節商材の需要が低迷するため、売上が例年を割り込む懸念がある。
	コンビニ（経営者）	・冷夏の長期予報であり、例年に比べて厳しい売上が予想される。
	コンビニ（経営者）	・冷夏の長期予報に加えて、競合店が出店したことから、来客数の前年割れがしばらく続く。
	コンビニ（エリア担当）	・長期予報では冷夏と予想されており、季節商材の売上悪化が懸念される。
	乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金による駆け込み需要で、しばらくは前年を上回る販売台数が期待できるものの、景気回復を実感するには程遠い。
	乗用車販売店（経営者）	・ボーナス商戦には期待できず、エコカー購入補助金終了後の販売台数は厳しい状況が予想される。
	乗用車販売店（従業員）	・自治体のエコカー購入補助金が終了し、駆け込み需要がなくなるため、販売台数は減少する。
	住関連専門店（経営者）	・低温が続いて農産物の作柄は悪くなるため、景気はしばらく悪くなる。
	一般レストラン（経営者）	・国内政治の迷走やギリシャ財政危機の報道が消費者の先行き不安につながり、個人消費の冷え込みが一段と進む。
	一般レストラン（スタッフ）	・景気の低迷で、消費者の財布のひもは一段と固くなる。
	一般レストラン（支配人）	・天候予報では冷夏と予想されており、主力の地ビールは売上が期待できない。
	その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	・東北新幹線延伸に向けて新駅周辺の出店が増えているため、ますます市中心部への集客が難しくなる。
	都市型ホテル（経営者）	・宴会やレストラン部門の予約が低調で、宿泊部門ではビジネス客の予約が例年を大幅に下回っている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・冷夏と予想されており、企画商品等で例年は満室になる日でも空室があるため、売上が前年を割り込んで悪化する懸念がある。

	悪くなる	観光名所（職員）	・予約が前年を下回っているため、今後の売上は悪くなる。
		商店街（代表者）	・来客数は底を打って横ばいが続いており、改善に向かう要素が見当たらない。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・政治の迷走で先行き不安が広がるため、消費マインドが低下して売上の回復は期待できない。
		一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・ギリシャ財政危機や国内政治の迷走などで、消費者の先行き不安が強まっており、節約志向や買い控えが強まる懸念がある。
		スーパー（経営者）	・有効求人倍率の低下や冷夏の長期予報から、売上、買上点数共に一段と数字が悪くなる。
		スーパー（経営者）	・参議院選挙や高速道路料金の引下げ制度の先行きが不透明なため、売上の悪化が懸念される。
		一般レストラン（経営者）	・生活が不安定で先行きに不安を抱く人が多いため、景気の悪循環から抜け出すのは難しい。
		観光型旅館（経営者）	・天候不順が続いて農作物の作柄に影響が出ており、米の作柄は観光や旅行の需要に影響するため、今後の受注悪化が懸念される。
企業動向関連	良くなる	競艇場（職員）	・個人所得の減少や景気の低迷など、先行き不安につながる要因が多いため、個人のレジャー支出は一段と減少する。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・経営状況が良くなっているため、設備投資や製品開発の計画が増えており、給与やボーナスの支給にも期待できる。
	やや良くなる	建設業（企画担当）	・着工を凍結していた工事が再開され、工事の届出件数が増加傾向にある。
		輸送業（経営者）	・取引先は、今後の物量の増加が期待できる状況にある。
		通信業（営業担当）	・業績予想が想定内に収まる見込みであり、今後の業績回復に楽観的な見方が広がっている。
		広告業協会（役員）	・ボーナス商戦はあまり期待できないものの、前年に比べて流通関係の広告で引き合いが増えている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・景気は底を打っているため、天候が例年並みで推移すれば、季節商材の受注は増加する。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・天候不順の影響で桃の生育が遅れており、収穫時期がお盆までずれ込むと販売価格の低下が懸念される。
農林水産業（従業者）		・今後、直売米の注文は増える見通しが立たない。	
食料品製造業（経営者）		・高速道路料金の引下げ効果は前年ほどではないものの、他地域からの入込や土産物の売上は期待できる。	
食料品製造業（総務担当）		・原材料価格に影響するため、冷夏による米の作柄が懸念される。	
食料品製造業（総務担当）		・冷夏の影響で、今後の売上は例年を下回る見込みである。	
繊維工業（営業担当）		・景気の早期回復は期待できない。	
木材木製品製造業（経営者）		・戸建住宅の需要が安定しているため、しばらくは順調に推移する。	
出版・印刷・同関連産業（経営者）		・参議院選挙関連の飛び込みの仕事はあるものの、それ以外で受注が増加する要因は見当たらない。	
出版・印刷・同関連産業（経理担当）		・企業は広告宣伝費を削減しているため、チラシ折込やマスコミ媒体の受注はしばらく期待できない。	
土石製品製造販売（従業員）		・今後3か月で景気が回復する要因はみあたらず、回復が数字に現れるには時間がかかる。	
電気機械器具製造業（営業担当）		・利益率の改善が進まないため、仕事量が増加しても中小企業では景気回復につながらない。	
建設業（経営者）		・住宅リフォームの受注や公共工事の案件が少しずつ増えている。	
建設業（従業員）		・民間企業の設備投資が回復するには、しばらく時間がかかる。	
金融業（営業担当）		・景気に変化する明るい兆しがみあたらない。	
広告代理店（経営者）		・参議院選挙による受注は多少期待できるものの、全体的な受注は例年を大幅に上回るほどではない。	
新聞販売店〔広告〕（店主）		・販売店の売上や集金員が持ち帰る話題から、先行きに明るさは感じられないものの、経済の変化に敏感な人から経済紙の購読申込が散見されるようになっている。	
経営コンサルタント		・参議院選挙の前哨戦が始まり、企業活動はしばらく様子見の状況が続く。	
公認会計士		・請負金額の減額要請が続く建設業や、消費マインドが低迷している小売業など、得意先では厳しい経営が続く。	
その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）		・首都圏の大手小売では過剰在庫を抱えない方針があり、酒類の需要や販売量の回復はしばらく期待できない。	

	<p>その他企業〔企画業〕（経営者）</p> <p>その他企業〔工場施設管理〕（従業員）</p> <p>金属工業協同組合（職員）</p>	<p>・住宅関連の取引先は、企業努力で業績の良い会社もあるが、全体として厳しい状況は変わらない。</p> <p>・失業者の増加で先行き不安が広がっており、取引先から景気の変化は感じられない。</p> <p>・半導体関連の受注量は増加傾向にあるものの、原材料価格の影響で太陽電池関連の受注が低迷している。</p>	
やや悪くなる	<p>一般機械器具製造業（経理担当）</p> <p>通信業（営業担当）</p> <p>広告代理店（経営者）</p> <p>司法書士</p> <p>コピーサービス業（経営者）</p>	<p>・円高の進行や原材料価格の懸念に加えて、エコカー購入補助金が終了すると新車販売は落ち込むため、自動車部品の受注は減少する。</p> <p>・業界の再編に加えて、取引先の態度は一段と厳しくなるため、落ち込んだ状況から目標値までばん回するのは難しい。</p> <p>・新規の受注案件が見当たらないため、再度落ち込みが予想される。</p> <p>・改正貸金業法の施行により、破産手続きの増加が予想される。</p> <p>・官公庁の案件は、参議院選挙が終わるまで動きが悪い。</p>	
悪くなる			
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・採用に関する企業からの問い合わせの件数が増加傾向にある。
	やや良くなる	<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・製造業関係からの需要が増加傾向にある。</p> <p>・スーパーの新規出店や住宅販売会社の計画があり、不動産関連の求人に動きがみられる。</p> <p>・有効求人倍率が上向き傾向にある。</p> <p>・休業など雇用調整の実施件数は横ばいであるが、実施延べ人日が減少傾向にあり、雇い入れに係る助成金などの相談が増加している。</p>
	変わらない	<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・求人は人気の無い職種だけが残っており、雇用環境はなかなか改善されない。</p> <p>・県内景気の先行きに不透明感があり、求人活動の停滞が続く。</p> <p>・雇用情勢が改善する明るい材料は見当たらない。</p> <p>・下降に一服感がみられた有効求人倍率が、再び下降に転じており、厳しい状況はしばらく変わらない。</p> <p>・新規求人数は増加傾向にあるものの、来春の新卒者採用の動きは低調である。</p> <p>・一部の製造業では仕事が増えているものの、短納期で受注価格も抑えられているため、雇用状況の改善にはつながらない。</p> <p>・人員整理をする事業所の動きが続いており、良くなる傾向は見られない。</p>
	やや悪くなる	<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>アウトソーシング企業（社員）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・労働者派遣法の改正や運用の見直しにより、今後の受注は一段と落ち込む可能性がある。</p> <p>・現状を打破する景気回復の要素が見当たらない。</p> <p>・有効求人数は前年並みで推移する一方で、有効求職数が増加傾向にある。</p>
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・利益率が低下する一方で費用の割合が高まっており、しばらく改善が見込めない。